

私学助成署名推進ニュース

全国私私学助成をすすめる会(事務局:全国私立学校教職員組合連合)
No.57 2025年12月25(木)

12・5「学費の公私間格差・自治体間格差是正を求める院内集会」その2

「今こそ国の責任で」「超党派で無償化実現を」

ご挨拶くださった28人の国会議員のみなさん



(以下、あいさつ要旨)

「私学の特徴は教員に転勤がなく、母校を訪ねねば恩師がいる。私学の良さが保てるようにしたい」(西川議員)、「負担は授業料だけではない。養護教諭についても専任教諭で配置できるようにする必要がある」(福島議員)、「母が新聞配達で進学させてくれた。教科書の無償化も進めている」(原田議員)、「教員が生き生きと働く環境にしていくことが子どもたちのために必要」(矢崎議員)、「公立に入れなかつた生徒を育てる役割が私学にはある。経済的心配なくその地域で私学を選べるようにするのが国の役割」(岡田議員)、「私学の無償化は前進しているが、まだまだだ。タブレットの補助は公立だけ。山形では下宿しないと通えない地域もある」(芳賀議員)、「文教科学委員として、高校無償化の実現は必要」(水野議員)、「高校生の話に勇気づけられた。街頭署名で知らない人に声をかけて対話する、それ自体に大きな学びがある」(山添議員)、「50年前、私学振興助成法の成立時に父が中心に活動したが、附帯決議の「1/2」がまだ実現していない」(西岡議員)、「国のお金をどこに使うかの問題。教育にお金をかけることは国の将来に向けての投資だ」(ラサール議員)、「高校生に、声を上げれば変わらんだという思いをもってもらえるようにしたい」(大西議員)、「様々なところで格差が強まっている。学ぶことの公私間・自治体間の格差もなくす必要がある」(堂込議員)、「貧困の中で育ち、大学進学で迷ったときに「奨学金を取るから進学しなさい」と先生に言ってもらった。高校教育は国の財産になる」(白川議員)、「希望することを学べる自由を保障するのが政治の役割。多くの方々と危機感を共有したい」(木戸口議員)、「大阪では授業料無償化が実現。医療費を削減し、その分を若い世代に回せるように考えている」(嘉田議員)、「確かに大阪は無償になったがキャップ制は大きな問題だ。大阪の失敗を全国に拡げないように。国の拡充で浮く財政をネコババさせてはならない」(森山議員)、「多様な学びのチャンスを与えることができるのが私学。経済的心配なく通えるようにしたい」(牧山議員)、「学校も満足にない田舎で育つた。生まれた場所で教育格差があつてはならない」(升田議員)、「高校生の皆さんが声を上げてくれたことが大きな力。授業料以外の費用はまだ残っている。教育予算を増やして本当の無償化を」(吉良議員)、「学費滞納が減っているのはみなさんの運動の力だが、アルバイトの増加、交通費の負担もある」(阿部議員)、「京都の私フェスに参加して、学費のことで親や兄弟に申し訳ない思いを抱いているという高校生の声を聞いた」(堀川議員)、「財源として教育国債を提案している。高校生の扶養控除をなくすと報道があったが、それでは就学支援金が上がつても意味がない」(玉木議員)、「就学支援金の充実と同時に、教育の質を向上させるために私学助成の拡充をすすめる」(山崎議員)、「自分も25年前に愛知で署名や1億円募金にとりくんだ。あとは恒久財源を確保する最後の詰めの段階」(今枝議員)、「私学には公立から零れ落ちた生徒を救う役割もある。私学がなかつたら日本の教育は成り立たない」(佐々木議員)、「ヨーロッパでは学ぶ権利が保障され、大学まで無償が当たり前。授業料の無償化と同時に、私学の教育条件拡充のために教育予算の増額をめざす」(田島議員)、「三党合意の実務を担当。教員の質、専任教諭増の問題も残っている。授業料以外の納付金の負担は奨学給付金の拡充でカバーできるようにしたい」(柴山議員)、「物価が高騰し、教育の差別が生じている。教育は確だ」(下条議員)

2025.12.5 学費の公私間格差・自治体間格差は正を求める院内集会 参加議員一覧

本人出席議員のみなさん				No	代理出席議員のみなさん			
お名前	選出	院	会		お名前	選出	院	会
松田功議員	比例東海	衆	立	1	大野敬太郎議員	香川	衆	自
西川厚志議員	愛知	衆	立	2	瀬戸隆一議員	比例四国	衆	自
福島みずほ議員	比例	参	社	3	鳩山二郎議員	福岡	衆	自
原田大二郎議員	比例	参	公	4	階猛議員	岩手	衆	立
矢崎堅太郎議員	千葉	衆	立	5	小川淳也議員	香川	衆	立
岡田悟議員	比例近畿	衆	立	6	神津たけし議員	長野	衆	立
芳賀道也議員	山形	参	無	7	神谷裕議員	北海道	衆	立
平岩征樹議員	比例近畿	衆	無	8	今井雅人議員	岐阜	衆	立
古川元久議員	愛知	衆	国	9	藤原規眞議員	愛知	衆	立
○ 水野孝一議員	愛知	参	国	10	黒岩宇洋議員	新潟	衆	立
山添拓議員	東京	参	共	11	山崎誠議員	比例南関東	衆	立
高木真理議員	埼玉	参	立	12	大門美紀史議員	比例	参	共
西岡秀子議員	長崎	衆	国	13	江渡聰徳議員	比例東北	衆	自
○ ラサール石井議員	比例	参	社	14	磯崎仁彦議員	香川	参	自
大西健介議員	愛知	衆	立	15	坂井学議員	神奈川	衆	自
堂込麻紀子議員	茨城	参	無	16	牧義夫議員	愛知	衆	立
白川容子議員	比例	参	共	17	吉川元議員	比例九州	衆	立
木戸口英司議員	岩手	参	立	18	小池晃議員	比例	参	共
嘉田由紀子議員	比例	参	維	19	東国幹議員	北海道	衆	自
森山浩行議員	比例近畿	衆	立	20	阿部弘樹議員	比例九州	衆	自
牧山ひろえ議員	神奈川	参	立	21	泉房穂議員	兵庫	参	立
升田世喜男議員	比例東北	衆	立	22	辰巳孝太郎議員	比例近畿	衆	共
○ 吉良よし子議員	東京	参	共	23	波多野翼議員	比例北信越	衆	立
阿部知子議員	神奈川	衆	立	24	原田和広議員	比例東北	衆	立
堀川あきこ議員	比例近畿	衆	共	25	津島淳議員	青森	衆	自
大串博志議員	佐賀	衆	立	26	坂本哲志議員	熊本	衆	自
玉木雄一郎議員	香川	衆	国	27	広田一議員	徳島・高知	参	立
☆ 山崎正恭議員	比例四国	衆	公	28	菊池大二郎議員	比例東北	衆	国
今枝宗一郎議員	愛知	衆	自	29	稻富修二議員	福岡	衆	立
田中和徳議員	神奈川	衆	自	30	平井卓也議員	比例四国	衆	自
☆ 佐々木ナオミ議員	比例南関東	衆	立	31	仁比聰平議員	比例	参	共
新実彰平議員	京都	参	維	32	浅野哲議員	茨城	衆	国
田島麻衣子議員	愛知	参	立	33	丹羽秀樹議員	愛知	衆	自
金子恵美議員	福島	衆	立	34	井坂信彦議員	兵庫	衆	立
☆ 柴山昌彦議員	埼玉	衆	自	35	原田秀一議員	香川	参	国
滝波宏文議員	福井	参	自	36	西村智奈美議員	新潟	衆	立
下条みつ議員	長野	衆	立	37	水沼秀幸議員	千葉	衆	立
				38	斎藤嘉隆議員	愛知	参	立
				39	橋本慧悟議員	比例近畿	衆	立
				40	若山慎司議員	比例東海	衆	自
衆議院議員	21	42	63	41	志位和夫議員	比例南関東	衆	共
参議院議員	16	10	26	42	青山大人議員	茨城	衆	立
	37	52	89	43	工藤彰三議員	比例東海	衆	自
				44	おおたけりえ議員	比例東海	衆	立
				45	片山大介議員	兵庫	参	維
自由民主党	4	16	20	46	西田英範議員	広島	参	自
立憲民主党	16	25	41	47	古川康議員	比例九州	衆	自
国民民主党	4	4	8	48	辻英之議員	福井	衆	立
公明党	2	0	2	49	福田玄議員	比例中国	衆	国
日本共産党	4	5	9	50	小宮山泰子議員	埼玉	衆	立
日本維新の会	2	2	4	51	伊藤俊輔議員	東京	衆	立
社会民主党	2	0	2	52	西田薰議員	大阪	衆	維
れいわ新選組	0	0	0					
無所属	3	0	3					
計	37	52	89					

参加政党 8

☆ …衆議院文部科学委員 8
○ …参議院文教科学委員 4